



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」中小企業戦略コンサルタント五十嵐 勉 平成23年06月20日 第516号

## 「デフレの正体」を読んで

藻谷浩介著「デフレの正体」を読みました。

「経済を動かしているのは、景気の波ではなく、人口の波。生産年齢人口(15歳～64歳)の現役世代の数の増減である」。日本のデフレの正体は、生産年齢人口の減少と高齢者の激増であると。

1990年にバブルが崩壊して、日本の長期低迷が続きましたが、正確には1997年まで消費が伸びていた。1998年以降右肩下がりになっていった。その原因は1998年以降生産年齢人口の減少と高齢者の増加であるといっています。

アマゾンの論評をみると賛否がありますが、町コンが面白いと思った箇所がありました。日本は貿易黒字国である。中国、韓国、アメリカなど日本を経済的に苦しめている国に対して、日本は貿易黒字である。しかし、3カ国に対して、貿易赤字になっている。その国とは、スイスとフランスとイタリア。ハイテク製品ではなく、食品、繊維、皮革工芸品、家具という「軽工業」製品が日本で売れている。日本のハイテク製品の代金よりも日本人が喜んで買っている軽工業製品の代金の方が高いので貿易赤字になっている。

日本は元々軽工業製品の分野にも極めて強い国。これからはフランス、イタリア、スイスの「軽工業」製品に「ブランド力」で勝つことである。アジアが伸びてきた時に、今の日本人並みに豊かな階層が大量に出現してきたときに、フランス、イタリア、スイスの製品を買うのか、日本製品を買うのか、日本の置かれた国際競争はそういう競争である。

本を読んで、日本では内需拡大を目指すのではなく、あくまでも日本の長所である「輸出」を伸ばす。ハイテク製品ではない製品・サービスを。もう一つ、それは日本の素晴らしい自然を世界に広める、つまり「観光」。観光も輸出の一つ。Made In Jpanを売り込む。

ちょっと  
気になる出来事

- 「ピンチはチャンス」
- 「苦難は幸福の門」
- 「憂えれば崩れる、信ずれば成る」

危機的状況になったとき、人は渾身の力が出てくるものです。

08年に100年に1度のリーマンショック。

11年に100年に1度の大地震。

5年前の自分と今の自分では、今の方がいろいろなアイデアが浮んできます。楽な時より大変な時の方が頭の稼働が早くなり、良くなっていくんですね。

命あるもの。希望は太陽である。



一口メモ  
成功の秘訣

組織は「右向け右」で動くもの

世の中で最も合理的で無駄のない組織といえば、それは軍隊ではないでしょうか。軍隊という組織の優れたところは、どこにあるのでしょうか。

なんといっても、「敵に勝つ」という組織の目的が非常にはっきりしていて、しかも全員がその意識を共有している点です。だから軍隊にはわざわざ理念を用意する必要などありません。

それから、一瞬で意思統一が図れる指示命令系統になっている点もそうです。組織内の序列が明確なのに加え、意思決定の権限がトップに集中しており、さらにトップの指示をその序列に沿って伝えるトップダウンが徹底しているからこそ可能なのです。

私は、軍隊組織の持つこれらの利点を、会社の組織作りにも積極的に取り入れていくべきだと思います。もちろん、軍隊と会社というのは存在目的がまるで違います。でもどちらも「生き残りをかけて敵(競争相手)と熾烈な戦いを繰り広げる宿命にある」と考えれば、組織の性格としてはかなり近いといえるのではないのでしょうか。吉越浩一郎「残業ゼロの仕事力」

本「会社は潰れるようにできている」(中経出版) 発売中!

会社成功塾 毎週日曜日、月曜日 午前10時～12時。

戦略社長塾 毎週土曜日 午前10時～12時。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

